

町政を問う!

一般質問 12議員が質問

一般質問をした議員自身の原稿を基に編集しました。

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例議会で、町政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。今定例会では3日間にわたり行われました。

- 根岸富一郎 議員
 - 1 町の介護保険料見直しについて
 - 2 区長の報酬について
 - 3 ごみ焼却場建設について
- 松浪健一郎 議員
 - 1 福島から避難してきている方々について、町としての将来のビジョンを伺う
 - 2 鳩山ニュータウンの公園、街路樹の管理について
 - 3 5月19日に行われた「鳩山ニュータウンの自治組織のあり方」に関する意見交換会について
- 稲垣 稔 議員
 - 1 鳩山町の貴重な資産である自然、大学・研究機関、高齢者の経験を、まちづくりに活かす施策が重要
- 中山 明美 議員
 - 1 鳩山ニュータウン空き家対策について
 - 2 災害備蓄倉庫の整備について
 - 3 エコリ菌検査の導入について
- 野田小百合 議員
 - 1 鳩山ニュータウンの自治組織のあり方について
 - 2 子宮頸がん予防ワクチンについて
- 日坂 和久 議員
 - 1 町内道路危険箇所安全対策について
 - 2 鳩山ニュータウン地域のあるべき姿について
 - 3 平成の国分寺造営でつながる古代瓦のふるさと鳩山再現事業について
- 田中 種夫 議員
 - 1 学校給食センターについて
- 石井 計次 議員
 - 1 成年後見人制度について
 - 2 水辺の再生について
 - 3 町の特産品について
- 松田 隆夫 議員
 - 1 エネルギーの地産地消について
 - 2 中長期的展望をもった公共事業の実現に向けて（国の大型補正予算を視野に入れて）
 - 3 子宮頸がん予防ワクチンについて
- 森 利夫 議員
 - 1 本年3月の定例会で議決した一般会計補正予算について
 - 2 町の特産品と観光事業について
- 小鷹 房義 議員
 - 1 町内デマンドタクシー、町内循環バスについて
 - 2 町内の交通安全対策を考える
- 小峰 文夫 議員
 - 1 企業誘致について
 - 2 今宿東土地区画整理事業について
 - 3 今宿小学校グラウンドの大き木について
 - 4 亀井小学校グラウンドの遊具について
 - 5 鳩山中学校の吹奏楽器について
 - 6 耐震補強事業について

介護保険

生活援助の時間が短縮されたが…

アンケートの実施で実態把握する



根岸富一郎 議員

- 問** 鳩山町でも、掃除・ゴミだし、病院の付き添いが増えたという。訪問介護で利用者・家族への影響はどうか。
- 答** 訪問介護の生活援助が、これまで60分単位だったが、20分以上45分未満と45分以上に変更。ケアマネジャーから利用者にサービス回数を増やすように勧めても、いままでと同じ回数の意向が多く、ヘルパーは短い時間で終わらせようとするなどの事例がある。
- 問** 実態把握は。
- 答** 今年度、利用者アンケートの実施で実態の把握をしたい。
- 問** 町と大字・自治会が提携する場合のあり方を明文化する必要があるのではないか。
- 答** 今後、自治組織のあり方などについて研究する。
- 問** 開発行為など周辺住民の意思決定を現行の区長や区長会に委ねることが出来るか。
- 答** 開発行為の協議の定めで、周辺住民への説明は義務となっているが、同意書等の添付は条件となっていない。しかし、町長の同意書が必要であり、町として必要になる。周辺住民の同意書等は、区長名義で取り交わされるが、住民の多数が決定したものと解釈する。
- 問** 組合への要望事項中の稼働年限30年とあるが、提案があったのか。
- 答** 町が一例として説明した内容である。
- 問** 施設建設の許可に必要な要件は何か。
- 答** 土地所有者の同意が基本であり、特に周辺住民の合意は法的にはない。丁寧な説明をしたい。
- 問** 上熊井住民との基本合意はできるか。
- 答** 大気関係など説明を重ねたい。



生活援助 時間短縮 (ゆとりがなくなった)

松浪健一郎 議員



自治組織

丁目ごとに絞った自治組織は

そういう観点もあり

問 福島から避難して来ている方々について、将来に不安を感じている方もいると思う。町として何をすべきか、将来のビジョンを伺う。

答 JAXAとの協議で複数年の使用賃借契約を結ばないものの、1年単位での延長を行うことで共通認識を図っている。手続きとしては、本年4月に、国から東日本大震災に係る応急仮設住宅の供与期間の延長について、都道府県に通知され、各被災県が各都道府県知事に依頼し、災害救助担当部局の判断の元で1年を超えない範囲で延長できる。現時点で明言はできないが、更に1年間の延長ができると考えている。

問 JAXAの施設を町が買うことはできないか。

答 買うとは言えないが、いろいろ調べ直したい。

問 5月19日に行われた「鳩山ニュータウンの自治組織のあり

方」に関する意見交換会を開催するに至った経緯を伺う。

答 ニュータウンの高齢化に対応するには、住民と町が手を携え、福祉や防犯、防災をメインとした仕組み作りを構築する必要がある。自治会は地縁による自治組織という原点に戻り、地域支援合いの中心になって欲しい。そうした町の考え方を住民がどのように捉えているか把握するために開催した。

問 丁目ごとに絞った組織作りも必要だと思うがどうか。

答 そういふ観点もありだと思う。



延長が待たれる避難者仮住居 JAXAの施設

地域活性化

大学は地域の宝、地域は大学の宝

理念を今後連携の礎として生かす

稲垣 稔 議員



問 鳩山町の貴重な財産は、里山の自然、大学や研究機関や先進事業所そして豊富な経験や知識をもった高齢者の人材です。与えられたこれらの財産をまちづくりに活かすことが極めて重要な課題です。しかし、大学や研究機関とは「連携」「互恵」の関係にはほど遠いのが実態。大学や研究機関に対する町の理念が乏しいからです。

私は昨年末、これからの大学と自治体が目指すべき方向性を明示したフォーラムに参加しました。タイトルは「地域活性化のための大学と自治体の連携」です。講師は文部科学省高等教育局長の坂東久美子さんです。要旨は、「大学は地域の宝・地域は大学の宝」それは大学の有する様々な資源（ヒューマン・ソフト・ハード）これら地域にとって大きな財産。教職員、学生、留学生、同窓生など様々な人的資源。そして、キャンパス、施設、設備などの物的資源。

さらに、教育研究活動とその成果。文化的知的土壌、社会的信頼などのソフト資源。逆に、地域の資源やサポートは、大学の様々な機能を発揮するうえでの大きな宝。大学は地域との連携を強化し、双方の資源を最大限活用しなければとの主張でした。私は感銘を受けました。坂東さんの主張に対して感想を伺います。

答 坂東局長のお話は、理念を的確に示しております。今後の大学との連携事業の礎として活かさせていただきたいと強く感じました。



東京電機大学 鳩山校舎

中山 明美 議員



空き家対策

今後の対策をどう考えているか

データを集める必要がある

問 空き家の把握はどのようにしているのか。

答 水道使用者情報により把握している。

問 空き家の現状・戸数の推移・地域は。

答 3347件中、水道中止数が半年で123件から145件と増加している。松ヶ丘地区が50件から54件、楓ヶ丘地区が45件から61件、鳩ヶ丘地区が28件から30件。

問 ニュータウンの学校の児童数の推移は。

答 小学生は昭和50年度は112人、年ごとに倍増し60年度には1331人がピーク。その後徐々に減少し、平成6年に962人、25年度が260人。

問 来年度の児童数の見込みは。

答 20人程度減ると思われる。

問 空き家をそのまま放置していると生活環境や防犯上問題がある。その対策は。

答 環境保全条例を準用し適正な管理を指導している。今後、空き家が

さらに増えると予想される。他町村の状況を勘案し、町条例を考えていかなくはないと思う。

問 町長の見解は。

答 管理を徹底していく方向の空き家対策・空き家を活用するという施策の2通りがある。町村会でも空き家を活用し子育て世代を定住させる施策に取り組んでいる町村に研修に行く予定である。研究してまいりたい。

問 空き家バンクを検討しては。

答 第5次総合計画の中で鳩山再生創造戦略の指標として小学校入学児童数の増加が掲げられている。いろいろな形で研究してみたい。



空き家に住みついている？ タヌキ？ハクビシン？

野田 小百合 議員



ワクチン行政

副反応や有効性などの情報提供を

資料を作成し、情報提供する

問 鳩山町における子宮頸がん予防ワクチン接種状況はどのようか。副反応の報告はあったか。

答 2月1日現在、262人が接種を開始している。

副反応は3件あったが、いずれも中学生で、重篤なものではなかった。

問 副反応の状況や有効性など接種前の子どもたちや保護者に、具体的な情報を知らせる必要があるのではないか。

答 現在、国でも専門家による検討を行っている。その結果も踏まえて対応したい。国で検討している情報提供資料を参考に、予防接種の効果や副反応等の内容を説明した詳しい資料を作成し、予防接種対象者や保護者に情報提供ができるようにしたい。

※6月14日に厚生労働省はワクチン接種を積極的に勧めることを一時的に控えることを決めました。

問 鳩山ニュータウン住民自治会は、なぜ

自治協力団体として認められないのか。

答 鳩山ニュータウン新自治会を認めた平成7年の経緯や当時の町の考え方について調べた。本来、望ましいものではないが、例外的に認められたものと推察した。

現時点での町の考え方は、同一エリアに複数の自治協力団体が存在することは望ましいことと考えていない。

また名実ともに新規設立できないと審査の対象とならないが、住民自治会は、既存の団体が定期総会を開催して名称を変更しただけであると疑わざるを得ない。



子宮頸がんワクチンに関するパンフレットより(厚生労働省)

日坂 和久 議員



町道の安全対策

早急に危険箇所の安全対策工事を

指摘箇所の安全対策工事は必要だ

町内道路危険箇所の安全対策

問 水穴通りの農村公園通り接続部分は、センター部分や外側線が分かりにくい。道路中央部を走行する車両が多い。すれ違いざまの衝突事故等が心配されるが、安全対策はどうか。

答 水穴通りは、抜け道として利用されているようであり、特に朝夕は通過車両が多い。指摘の場所は時折事故が発生しているようだ。安全対策として、センターには発光式道路標識、外側線には蛍光塗料付ポールを設置を検討する。

問 鳩ヶ丘ごぶし通り無歩道側の歩行者安全対策についてはいかがか。

答 無歩道側の路肩を広くとり、カラー舗装等で運転者の注意を喚起する。

二ニュータウン地域のあるべき姿

問 今後町が意見交換会を開催していくのか。

答 現段階では、町が問題提起しているが、二

ニュータウン地域で不要との意見が多くあれば、考えを改める。

古代瓦のふるさと鳩山再生事業

問 国分寺市と鳩山町の連携内容は。

答 双方の産業祭を利用して行う。鳩山の粘土・燃料で実際に焼成した瓦を、現在整備中の武蔵国分寺跡で活用するため、運上するイベントとする。

問 対外的に鳩山の魅力を発信する良い機会では。

答 古代窯の復元や古代瓦の焼成、国分寺市への運上イベント等全国的にも珍しい事業で、話題になることは予想される。



センター・外側線が分からず、真ん中を走る車が多い

学校給食

給食センターの早期改築を

専門委員会の答申を待ち検討する

田中 種夫 議員



問 現在の学校給食センターは稼働後既に30年が経過し、建築面を考えると老朽化も進み小さな機械故障なども発生しており、町内公共物の中でもガス利用による「火力事故」の危険性も含み早急に検討する必要が有ります。更に職場環境は悪い作業場のため、従業員の労力は想像以上と言っても過言ではありません。又、少子化に伴い担当課としてはどのように考えているのか伺います。

答 稼働は昭和56年です。約30年が経過していますが、耐震基準についてはクリアしておいております。なお今後の考え方としては、「学校給食の新たなあり方調査検討委員会」を立ち上げ来年3月末迄に答申が出されますので、その後検討していきます。また給食利用者数は平成24年度が1040人、平成37年度が600人と予測しております。

問 仮に新規センターの設立を考えた場合は、場所・規模・方式などどのように考えているのかお聞かせ下さい。

答 「調査検討委員会」の答申を受けてすべてについて検討していきます。そして供給運営方式は、センター方式・単独校方式・委託方式・親子方式など総合的に検討していきます。規模・場所につきましても、答申が出てから総合的に検討、判断をいたします。



内部の老朽化が心配される給食センター

石井 計次 議員



福祉行政

成年後見制度・町の捉え方は

鳩山町なりの方法を検討

問 本町では昨年来、健康福祉課等による説明会の開催など、様々な取り組みをされている。経緯と今後の計画は。

答 認知症、知的障害などで悪徳商法の被害に遭う事もある。本町の場合、高齢化率は益々高くなり判断能力が不十分な方の増加が予想される。この制度を町民に正しく理解して頂き体制の整備充実を図る必要があると考える。

問 まず、この制度を否定しての質問ではないことを申し添えます。しかし本年、後見人の弁護士が被後見人の預貯金約4000万円を横領し逮捕。昨年は18件、3億円以上の被害が発生している。防止策が喫緊の課題と思うが町の考えは。

答 制度を悪用するケースが増えている。対応策として社会福祉法人など法人後見なども検討する。

町の特産品について

問 観光や雇用など町の活性化に繋がる重要な

施策と考える。好評な特産品もあるが町が開発した焼酎「呑舞」は低迷にある。実状はどのようか。

答 売り出した平成18年は約253万円その後売り上げは落ち込み平成24年が約32万円で年々落ち込んでいる。

問 醸造元の仕込みは2年前から止めて頂いている。本町でも麦の生産者があります。2種類の焼酎の検討ができないか。

答 ワイン・焼酎を言えたい。

問 町おこしの観点からトップセールスの町長の認識は。

答 就任直後、業者を一巡したが改めて販路拡大も考える。



町の特産品の一例

松田 隆夫 議員



子宮頸がん予防ワクチン

接種を見合わせる選択肢が必要

任意接種なら可能。検討する

問 子宮頸がん予防ワクチンの安全性・有効性に問題がある。最新の知見を広報してほしい。

答 国でも議論されているので、町民の皆さまに個別通知などの情報提供をしたい。

問 安全性が疑われる現状では、任意接種の年齢を20歳くらいまで広げるとか、接種を見合わせる選択肢があつてよい。

答 検討したい。

問 国の予防接種被害者救済制度とは別に、町独自の救済制度があつてよい。

答 調査して研究させていたがたい。

問 接種の責任を個人が取るを得ないなら、行政は最新情報を出し、住民をサポートすべきだ。ワクチン全般に関して、もっと知ってもらう必要がある。

答 ホームページなどを使い、できることからやっていきたい。

(議会閉会后6月14日、国は自治体に「子宮頸がん予防ワクチン接種の積

極的な勧奨をしない」旨、通知を出しました。)

子育て支援住宅

問 子育て支援住宅とは何か。

答 再生可能エネルギーの実験を兼ねた公営住宅で、鳩山町全体の活性化を目的としている。

問 庁内で、推進する合意はできているのか。

答 合意できている。

問 実施に向けてクリアすべき要件は。

答 法規制問題と財源対策だ。

問 財源以前に、いつでも取りかかれる準備をしておく必要がある。

答 その方向で準備していく。ぜひやりたい。



「付加価値型」子育て支援住宅」整備計画」平成24年

森 利夫 議員



補正予算

事業総額10億円補正の執行は

国の実施計画承認後に予算編成

問 本年3月の定例会で、元気臨時交付金を活用して、事業総額10億円の補正予算を組んだが、それら事業の進捗状況は、

答 亀井・今宿小学校と鳩山中学校のプール改築工事設計業務、町内全小中学校と幼稚園の空調設備設置工事設計業務、鳩山中学校の大規模改築工事設計業務及び路面性調査を執行した。工事施工に必要となる設計及び調査業務を行っている状況である。

問 元気臨時交付金を活用する事業は、これから大部分を決めるという事で良いのか。

答 その通りだ。国へ提出する実施計画が承認された後、本格的な補正予算の編成をしたい。

問 鳩山町への交付限度額は、約4億4900万円で、3つのコンセプトに基づいて活用するということだが、どういった経緯で定められたのか。

答 活用に関する各課調査を経て案を作成し、政策会議で一部修正をし

浴槽等改修工事に太陽熱温水設備を検討中の福祉センター



て定めた。活用方針を決定するには国の承認が必要なのでその後になる。又3つのコンセプトは少子高齢化対策、エネルギー対策、防災対策、活性化対策等の懸案事項をまとめたものだ。

問 特徴的な事業で、総合福祉センター浴場等改修工事の中で太陽熱温水設備の導入とあるが仕組みは。

答 屋上に設置する集熱器と蓄熱槽の間で、溶液を強制循環させる方式なので、お湯と溶液が直接触れ合わず衛生面で優れている。

生活財政

デマンドタクシー土日運行は

3つの問題点がある

小鷹 房義 議員



町内デマンドタクシー循環バスについて

問 各地区の利用状況

答 ニュータウン69%、今宿地区20%、亀井地区11%となる。

問 亀井地区においての交通手段はどうか。

答 公共交通不便地域となっている。町内循環バスも利用者数も少なく廃止になり、平成21年10月からデマンドタクシーを運行している。

問 土日の運行を考えたらどうか。

答 現在、土日の運行がなされていない理由が3点ある。1つ目は、タクシー事業者の事業と競合する部分があること。2つ目は、予約受付等の業務を委託しているが、土日は休業であること。3つ目は、運行の日を増やすと経費の増加になる。デマンドタクシー3台分の運行経費は、年間2240万円かかり、1日約9万1000円になる。土日に運行した場合、約96日の追加となり、予約にかかるオペレーター



信号機設置が急がれる亀井小通学路（大橋地区）

費用、車両代、燃料代など500万円以上の費用増となってしまふ。なお、土日運行などの重要事項は、鳩山町地域公共交通協議会での審議事項になる。

町内の交通安全対策

問 町内の道路において横断危険箇所はないか。

答 現在、地元等から信号機の設定要望が10ヶ所から出ている。10年以上前から要望されているところもあり、生活環境課では西入間警察署へ定期的に信号の設置要望をしている。

問 現在進めている交通安全対策は。

答 今宿小通学路の花見堂通りの歩道設置事業、亀井小通学路、大橋地区から県道を横切る時の交差点の路面表示を行う。

小峰 文夫 議員



企業誘致

良品計画従業員募集はいつからか

諸般の事情で平成25年11月頃

問 平成5年に奥田地区地権者の要望から始まって丸20年であり、今年から工事が始まりましたが進捗状況を知りたい。

答 県の開発許可が今年の1月24日出され、2月下旬に、文化財調査の伐採工事が始まり、その後、防災工事、造成工事、防災調整工事等に着手し、平成26年7月の竣工を目指し、急ピッチで工事が進められている。

問 従業員募集はいつごろから始まるか。

答 諸般の事情から、平成25年11月ごろには募集を開始することになるのではないかと。

今宿東土地区画整理事業について

問 最も関心があるのが、区画整理地内に、スーパーマーケットが本当に出来るのか、スーパー用地はどうなっているか。

答 店舗建設のための大きな1区画とするため、換地の変更を実施している。

今宿小学校グラウンドの

平成26年7月完成めざして急ピッチで進む工事



大木について

問 今小のグラウンド東側の大木は危険であり、近隣に迷惑と思うが。

答 この木については、非常に高く伸びており、計画的に剪定や伐採等をしていく。

問 亀井小学校グラウンド南側に設置されている遊具の間隔が狭くて危険と思うが。

答 遊具と遊具の間に十分な空間をとって安全を図るようにする。

問 鳩中の吹奏楽器がかなり壊れているが。

答 計画的に楽器購入費を予算計上出来るよう努力し、クラブ活動に影響が出ないようにする。

一部事務組合報告

町の事業を他の市町と共同して行う事業です。

西入間広域消防組合

平成25年5月27日第1回西入間広域消防組合議会臨時会が開催されました。

提出された議案は、平成25年度一般会計補正予算、財産の取得の2議案で、いずれも可決されました。

一般会計補正予算では、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ29万2000円を追加し、歳入歳出総額をそれぞれ12億2362万2000円とするものです。

歳出の内容は、毛呂山町消防団女性団員のヘルメット・活動服などの購入と毛呂山町若山3丁目第5団地のごみ集積場に消火器を設置するものです。財産の取得は、越生分署に、水槽付消防ポンプ車を購入するものです。

(日坂)

ラスパイレス指数

順位	市町村	ラスパイレス指数	※参考	順位	市町村	ラスパイレス指数	※参考
1	熊谷市	112.1	103.5	26	吉見町	107.9	99.7
7	滑川町	111.0	102.5	50	鶴ヶ島市	104.6	96.3
14	小川町	109.7	101.4	54	鳩山町	103.1	95.2
23	ときがわ町	108.4	100.2	56	毛呂山町	102.4	94.6
24	坂戸市	108.3	100.0	57	越生町	101.6	93.9
26	嵐山町	107.9	99.6	62 (最下位)	皆野町	92.5	85.4
市単純平均		108.2	100.0	さいたま市を除く 平成24年4月1日時点			
町村単純平均		104.4	98.6				

ラスパイレス指数とは...

地方公務員と国家公務員の平均給与額を、国家公務員の職員構成を基準として、一般行政職における学歴別、経歴年数別に比較し、国家公務員の給与を100とした場合の地方公務員の給与水準を示した指数。

※国家公務員の時限的な(2年間)の給与改定特例法がない場合